

患者ID: _____ プロトコル名: SOX(G-)療法 投与歴: 初回・継続

患者氏名: _____ 投与開始日: 平成 年 月 日 前回投与日: 平成 年 月 日

生年月日: _____

身長: _____ cm 体重: _____ kg

体表面積: _____ m²

確認印	プロトコル	書記	薬局	看護師	医師
			確認印	確認印	確認印

メインボトル	薬剤名	1回量	規格・計量	回数→ 投与速度	日							
					日	日	日	日	日	日	日	
① ポート開通確認用	生理食塩液10mlシリンジ: 1本											
② 5%ブドウ糖100ml	グラニセトロンシリンジ (アロキシ静注)	3 mg 0.75 mg	3mgシリンジ: 1本 (0.75mg ^ハ イアル: 1v)	15分								
	テカトロン	mg	2mgアンプル: () 8mg ^ハ イアル: ()									
	プロイメント	150 mg	150mg ^ハ イアル: 1v									
③ 5%ブドウ糖250ml	エルプラット (100~130mg/m ²)	mg	100mg ^ハ イアル: () 50mg ^ハ イアル: ()	2時間								
④ 生食50ml												
経口: TS-1	TS-1 (80mg/m ²)	mg/日	TS-1(20): TS-1(25):	14日間服用 7日間休薬								
② 5%ブドウ糖100ml	グラニセトロンシリンジ (アロキシ静注)	3 mg 0.75 mg	3mgシリンジ: 1本 (0.75mg ^ハ イアル: 1v)	15分								
	テカトロン	mg	2mgアンプル: () 8mg ^ハ イアル: ()									
	プロイメント	150 mg	150mg ^ハ イアル: 1v									
③ 5%ブドウ糖500ml	エルプラット (100~130mg/m ²)	mg	100mg ^ハ イアル: () 50mg ^ハ イアル: ()	3時間以上								
	テカトロン	8 mg	8mg ^ハ イアル: ()									
④ 生食50ml												
経口: TS-1	TS-1 (80mg/m ²)	mg/日	TS-1(20): TS-1(25):	14日間服用 7日間休薬								

【処方(院内処置算定)】	下記該当欄にチェック
・自己抜針用生理食塩液10mlシリンジ: 1本	
・イメントカプセル125mg: 1カプセル(ポート開通確認と同時に服用)	
・	
・	

【院外処方(化学療法のレジメンとして含む薬剤)】	下記該当欄にチェック
・イメントカプセル80mg: 1-0-0(Day②③朝食後)	
・テカトロン錠0.5mg: 6-2-0(Day②③)(※イメント服用時は1/2量で)	
・	
・	

【自宅での副作用対応】	下記該当欄にチェック
・(下痢時)ロペミン1mgカプセル: 1-0-1を服用	
・(発熱時):	
・(嘔気時):	
・	
・	

【適応基準】

1. 切除不能・進行再発胃がん
2. PS 0~2
3. 以下の骨髄・肝・腎機能を有する症例
白血球数: 3,000~12,000/mm³、ヘモグロビン: 9.0以上、血小板数: 100,000/mm³以上、
総ビリルビン: 1.8mg/dL以下、AST/ALT: 100U/L以下(肝転移例は200U/L以下)、
クレアチンクリアランス: 60ml/min以上(sCr=1.5未満)
※G-SOX試験、SOFT試験ともにHb・T-Bilに対する基準なし

標準スケジュール	Day	1 . . . 8 . . 14 15 . . 21							Day								
		1	.	.	.	8	.	.	1	.	.	.	14	.	.		
エルプラット	100~130mg/m ²	↑															↑
TS-1	80mg/m ²	→							→								

【投与基準】 ※下記投与基準を満たすまで投与延滞★投与基準不適合項目にチェック

白血球数: 3,000/mm ³ 以上	日	日	日	日	日	日	日
好中球数: 1,500/mm ³ 以上							
血小板数: 75,000/mm ³ 以上							
AST/ALT: 100U/L以下(肝転移例は200U/L以下)							
総ビリルビン: 1.8mg/dL以下							
(※血清クレアチニン1.5未満、CCr=60以上)							
腸管麻痺、腸閉塞を認めない							
間質性肺炎または肺線維症を認めない							
多量の腹水、胸水を認めない							
下痢・口内炎がグレード1以下							
感染を疑わせる38℃以上の発熱がない							
感覚性神経障害Grade2以下							

<備考>

※グレード4の白血球(好中球)減少、グレード2の血小板減少、投与基準外の肝腎機能障害、グレード2の下痢・粘膜および口内炎、38℃以上の発熱が認められた場合はTS-1のコース内休薬とする(この基準以上に回復したら再開可)

	グレード	値	減量基準			
			TS-1	エルプラット		
白血球(好中球)減少	グレード2	2900~2000 (1490~1000)	回復を確認後、用量変更なし	回復を確認後、用量変更なし		
	グレード3	1900~1000 (990~500)				
	グレード4	1000未満 (500未満)			段階的減量 (Day22に開始基準未満の場合も)	段階的減量 (Day22に開始基準未満の場合も)
血小板減少	グレード1	99000~75000	回復を確認後、用量変更なし			
	グレード2	<75000~50000	回復を確認後、用量変更なし	段階的減量 (Day22にグレード1の場合も)		
	グレード3	<50000~25000	段階的減量			
	グレード4	<25000				
総ビリルビン	グレード2	2.0以上	出現する度にS-1 10mg/回減量			
AST/ALT	グレード2	100~200	※減量下限は40mg/回まで			
	グレード3	200以上				
クレアチンクリアランス		60未満	段階的減量			
発熱性好中球減少症	グレード3		段階的減量			
下痢 (予防策を講じた上で)	グレード3		段階的減量			
	グレード4	血性下痢、脱水 電解質異常				
感覚性神経障害	グレード3	日常生活に支障あり	グレード2以下になるまで休薬、スキップ可能			

確認印	計数	計量	立会監査	計数	計量	立会監査	計数	計量	立会監査

確認印	計数	計量	立会監査	計数	計量	立会監査	計数	計量	立会監査